

< 報道関係各位 >

2025年3月24日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

**ギリアド、HIV 流行終結に向けた活動を支援する
寄附プログラムを開始**
—ステークホルダーとともに、検査、治療、予防、偏見（スティグマ）の
4つの課題解決を目指す—

ギリアド・サイエンシズ株式会社（以下「ギリアド」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ケネット・ブライスティング）は2025年4月1日（火）から、非営利団体を対象としたHIV 流行終結に向けた取り組みを支援する寄附プログラムの募集を開始します。募集期間は6月13日（金）までとなります。

国連合同エイズ計画（UNAIDS）は、2025年までの95%の診断率、95%の治療率、95%のウイルス抑制達成率を満たす「95-95-95」を掲げており、2030年までに新規感染者ゼロの実現によるHIV 流行終結を目標にしています。

世界的にHIV 流行終息に向けた対策が推進されている一方、厚生労働省が発表したデータによると、日本におけるHIV 感染者とエイズ患者を合わせた2023年新規報告数は960件となり、そのうち、HIV 新規感染者は669件で7年ぶりの増加となり、エイズ患者数は291件で3年ぶりに増加に転じています^{*1}。

これらの数字は、日本でHIV 流行を終結させるために埋めるべきギャップを示しています。こうしたことから、ギリアドは、検査、治療、予防、偏見（スティグマ）の解消という4つの重要な領域に焦点を当てて、活動案を募集します。

① HIV 検査機会の拡充

HIV 感染の発見が遅れ、エイズを発症してから初めてHIV に感染していたことに気づく患者さんが増えており、HIV 新規報告数の約3割を占めます^{*1}。早期診断および適切な治療受診のためには、HIV 検査機会の拡充が必要です。

② HIV 陽性者の方々が安心して医療が受けられる医療提供体制の整備

医療の進歩とともに、現在は HIV 陽性者の平均余命は一般の方とほぼ変わらない状況にある一方、HIV 感染を理由にした診療拒否^{※2}など、HIV 陽性者の方々に対する継続的な医療提供を受けるための体制の整備が課題となっています。

③ HIV 感染予防策の啓発・普及

2024年、日本において初となる HIV の曝露前予防(以下、PrEP;Pre-Exposure Prophylaxis)が薬事承認を受けました。PrEP の適正使用等を含めた HIV 感染予防策の普及を推進することは、HIV 感染の予防および新規感染者を減らすための重要な取り組みとなります^{※3}。

④ HIV およびエイズに対する社会的偏見解消の推進と正しい理解の普及

ギリアドが実施した調査^{※4}では、約8割が「HIVは誰にでも感染の可能性があるウイルス」であると認知している一方で、8割超が「差別や偏見が存在している」と回答しており、HIV感染症に対する正しい知識の啓発や普及の必要性が明らかとなっています。HIV検査受診やHIV陽性者の方々のための医療提供体制においても、こうした偏見(スティグマ)は障壁の一つとなっており、正しい理解の普及が必要です。

活動案の募集期間は、2025年4月1日(火)から2025年6月13日(金)で、寄附先の活動と団体は弊社の審査委員会による厳正なる審査を経て決定します。

本プログラムの実施について、代表取締役社長のケネット・ブライスティングは次のように述べています。「日本で新たに HIV およびエイズと診断される人が再び増加していることは大変懸念されます。ギリアドでは、このプログラムを通じて、コミュニティ、医療従事者、自治体などによる革新性や実効性のある活動を支援することによって、日本における HIV 流行終結に貢献していきたいと思えます」

※1 厚生労働省エイズ動向委員会 令和5(2023)年エイズ発生動向年報(1月1日~12月31日)

※2 Futures Japan 「第2回 HIV 陽性者のためのウェブ調査」<https://survey.futures-japan.jp/result/2st/>

※3 Yijing Wang et al., 'Elimination of HIV transmission in Japanese; MSM with combination interventions', The Lancet Regional Health Western Pacific 2022;23: 100467

※4 HIV 感染症に関する認知度調査(2024年12月、インターネット調査)

20~89歳の男女2,500名(20代:500名、30代:500名、40代:500名、50代:500名、60歳以上:50名)

【募集要項】

プロジェクト名 : 日本におけるHIV流行終結に向けた活動支援プロジェクト

応募期間 : 2025年4月1日(火)~2025年6月13日(金)

- 応募条件：非営利団体であること（民間企業は対象外）
定款、前年度の活動報告書、財務報告、役員名簿があること
医療関係者に個人的利益をもたらす活動ではないこと
2026年7月31日（金）までに一定の成果が見込める活動であること
採択された活動の期間中、広報活動にご協力いただくこと
- 活動領域：以下の4領域のいずれかでご応募ください。
（活動内容が複数にわたる場合は主要な活動領域でご応募ください。活動は、全国的または地域限定的であることを問いません）
- ① HIV検査機会の拡充
 - ② HIV陽性者の方々が安心して医療が受けられる医療提供体制の整備
 - ③ HIV感染予防策の啓発・普及
 - ④ HIVおよびエイズに対する社会的偏見解消の推進と正しい理解の普及
- 応募方法：寄附プログラムのウェブページ
(<https://www.gilead.co.jp/our-purpose/giving/apply-for-a-grant>)
よりご応募ください

寄附の応募が初めての方やサポートが必要な方は、ギリアド寄附プログラム支援事務局がサポートしますので、応募を検討される場合は、①団体名、②代表者名、③連絡先（メール等）を記載の上、下記のギリアド寄附プログラム支援事務局にメールでお知らせください。

ギリアド寄附プログラム支援事務局

（株式会社ココノッツ内 担当：平田）

Email：gilead_comms@cocoknots.co.jp

Tel：03-5213-4410（土日祝日を除く10:00-17:00）

HIV／エイズについて

HIVは、ヒト免疫不全ウイルス（Huma Immunodeficiency Virus）と呼ばれるウイルスの一種で、HIV感染症はHIVに感染したことをいいます。HIVは感染すると、細菌や感染症から身を守るために体内に存在する免疫系の司令塔であるCD4陽性Tリンパ球（CD4細胞）を利用し、ウイルスのコピーを作成して増殖し、その結果、体内のCD4細胞数が破壊されて減少します。エイズ（後天性免疫不全症候群、AIDS：Acquired Immuno-Deficiency Syndrome）は、HIVに



感染し、発症する病気の総称です。日本では指定されている23疾患を発症するとエイズと診断されます。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、すべての人々にとって、より健康な世界の実現を目指し、35年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社はHIV、ウイルス性肝炎、COVID-19、がんなどの生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35カ国以上で事業を行っています。